



GE Healthcare

PRESS RELEASE

2013年8月9日

GE ヘルスケア・ジャパン マンモグラフィ専用ビューア「マンモブライトMammoBright」発売

パナソニック・バルコとのコラボレーションで実現

—低線量・高精度で検査効率を上げ、検診率UPへの貢献を目指す—

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、社長:川上潤)は、乳房 X 線撮影装置マンモグラフィ用の高性能ビューア「MammoBright(マンモブライト)」を本日より発売いたします。

「MammoBright」は、パナソニックメディカルソリューションズ株式会社(本社:大阪府門真市、代表:田中昭一)製のアプリケーションとバルコ株式会社(本社:東京都大田区、代表:マーク・ブット)製の高精細ディスプレイを搭載したマンモグラフィ専用ビューアです。超高解像度が要求されるマンモグラフィ画像ビューアにおいて、表示用画像技術における高い技術を誇るパナソニックメディカルソリューションズと、高精細ディスプレイにおいて世界のトップシェアを誇るバルコ、そして FPD 搭載フルデジタルマンモグラフィのトップシェアを持つ当社がコラボレートしたもので、GE ヘルスケア・ジャパンより販売します。乳がんの診断・検診に最適化された高速表示を実現したほか、高精細ディスプレイや日本のガイドラインに準拠したリポート作成機能の搭載など、日本の読影医のニーズにお応えします。低線量で高精度な診断に繋がることから、患者負担の軽減にも貢献します。

■高まるデジタルマンモグラフィへのニーズ

厚生労働省は、日本における「乳がん検診率 50%」を目標に掲げていますが、各施設でのマンモグラフィ検診率(職域検診を除く)は約 11.9%とされています(厚生労働省 HP より)。また、2012 年 10 月現在、国内には 4,898 台*のマンモグラフィが稼働しており、うち FPD 搭載デジタルマンモグラフィは 898 台*にとどまっています。病院内のインフラ整備に伴ってマンモグラフィのデジタル化が急速に進む中、検診率 50%の実現のためにも、現在 CR やフィルムで運用をしている 4,000 台のマンモグラフィ装置のデジタル化への検討が近年中にされるものと推測できます。

*月刊新医療(2012 年 12 月~2013 年 2 月)による。

一方、デジタルマンモグラフィに付随するビューアシステムに求められるニーズも多様化しており、従来のように1つの製品でカバーする多機能型では、高額な製品となりがちでした。

このほど発売を開始する「MammoBright」は、画像ビューアだけでなく、運用側のニーズによる柔軟な構成が可能となり、PACSやレポートシステムを含む提案など、デジタル化を検討している病院・クリニック・健診センターなどのお客様に最適な提案をリーズナブルにご提供することが可能となりました。

GE ヘルスケア・ジャパンでは、質の高い画像をスピーディに提供する「MammoBright」の販売により、患者さんと医療各施設の方々のストレスを減らし、乳がん検診率の向上への貢献を目指してまいります。

■「MammoBright(マンモブライト)」の特徴

- ① パナソニック製 高速表示ビューアソフト「プリッシモ MB®」を搭載
 - 画質と速度重視のマンモグラフィ専用 DICOMビューア
 - MLO/CC を左右対称に画像表示
 - 拡大率を自動で乳房範囲に合わせ、左右の胸壁位置を自動調整
 - パンニング、ズーム処理の左右同期
 - DICOM Mammography CAD SR 表示に対応
 - マンモ専用インターフェースで簡単・快適に操作
- ② バルコ製 高精細ディスプレイ「5.8メガピクセルモニター」を採用
 - バックライト出力安定化技術により、LCD のバックライトの輝度出力が継続的に安定し、長期にわたる画像安定性が図れる。
 - ソフトコピー施設画像評価に必要な画像表示システムのレポートに対応 (JESRAX-0093 に対応)
- ③ イメージサーバ+クライアントの構成やマルチモダリティにも対応可能
 - クライアントの台数や Web 配信を用いることにより、施設にあった自由自在な運用が可能に。



製品名: MammoBright(マンモブライト)
希望小売価格: 1,000万~4,000万円(構成により異なる) 消費税含まず
発売日: 2013年1月1日 一部リリース、2013年8月9日 機能強化し本格発売
※MammoBrightは、薬事非該当です。

■GE ヘルスケア・ジャパンについて

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、ゼネラル・エレクトリック(GE)のヘルスケア事業部門であるGE ヘルスケアの中核拠点の1つとして、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスを提供しています。医療用画像診断からライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GEの世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現に向けて、国内外の医療・研究施設を中心に革新的な製品やサービスをお届けしています。主要取扱製品は、CT(コンピューター断層撮影装置)、MRI(磁気共鳴断層撮影装置)、超音波診断装置、医療用画像ネットワーク、メディカル・ダイアグノスティクス(体内診断薬)、生体情報モニタ、液体クロマトグラフィー装置、細胞解析装置。2013年4月1日現在の社員数は2,100名、国内の事業所数は55カ所。ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

<お問い合わせ先>

GE ヘルスケア・ジャパン(株) コミュニケーション本部 ブランチャード/松井
Tel: 0120-202-021